



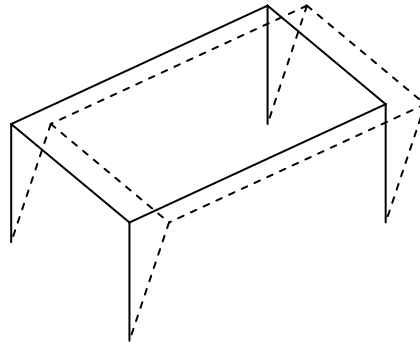
計算機能について

6 . 同一変位、剛床変位の設定が可能

複数の節点において 変位成分 別に剛体とする、同一変位を考慮した解析や、剛床仮定をモデルに設定することが可能です。

< 同一変位 >

二つ以上の節点のある変位成分を等しくする指定ができます。これには、同一変位を持つ節点のうちの一つの節点のある変位成分を代表変位とし、残りの節点の変位成分を従属変位とします。つり合方程式の変位パラメータは 代表節点の変位成分のみがとられ、残りの節点の変位成分としては代表節点変位成分が参照されます。建築の骨組等の場合、梁の両端の軸方向の変位を同一に指定すると梁は軸伸縮をしないことになります。二次元モデルでの剛床仮定や、建物全体のねじれがない場合（床面が座標軸に平行移動する場合）の三次元モデルの剛床仮定に利用すると便利な機能です。



< 剛床変位 >

同一変位の指定の他に剛床変位を仮定することができます。この機能により、建物全体のねじれがある場合（床面が座標軸に平行移動しない場合）でも、床面は変形しないと仮定することが可能です。

